

富山県における2022年度のウイルスおよびリケッチア検出状況

板持 雅恵 稲崎 倫子 畠田 嵩久 佐賀由美子
矢澤 俊輔 谷 英樹

Viruses and Rickettsiae Detected from Specimens of Patients in Toyama Prefecture in the Fiscal Year 2022

Masae ITAMOCHI, Noriko INASAKI, Takahisa SHIMADA, Yumiko SAGA,
Shunsuke YAZAWA, and Hideki TANI

目的：富山県衛生研究所ウイルス部では、感染症発生動向調査や行政依頼検査、一般依頼検査など、種々の目的によって検査を行っている。ここでは、2022年度に検出されたウイルスおよびリケッチアの検査の概要を報告する。

材料と方法：検査は、検体の種類や状態に応じて、常法に従い実施した。

2022年4月から2023年3月までに受け付けた被検者は延べ6,947例、検体別では糞便（直腸拭い液を含む）197、鼻咽頭または鼻腔拭い液299、唾液6,588、喀痰2、気管吸引液1、髄液12、尿11、血液（全血、血漿、血清、末梢血単核球、パフィーコートなど）48、痂皮・皮膚6、水疱内容物1、吐物2、胸水1の計14,119件であった。

結果および考察：被検者6,947例中3,800例からウイルスあるいはリケッチアが検出された。以上の成績を臨床診断名別、月別に表1に示し、若干の解説を加えた。

インフルエンザおよびインフルエンザ様疾患・呼吸器疾患：県内の医療機関を受診した患者56症例（鼻咽頭または鼻腔拭い液55、唾液1、喀痰1、髄液2、血清4、糞便2、尿1）について検査を行ったところ、12～3月に41症例からAH3型インフルエンザウイルスが検出された。インフルエンザウイルス以外では、2月に1症例からヒトボカウイルスが検出された。また、3月には、6症例からヒトコロナウイルスOC43がそれぞれ検出された。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）：4～9月に計5,247例（咽頭または鼻腔拭い液、唾液）の検査を行ったところ、2,274症例から新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）が検出された。

COVID-19 変異検査：4～5月に県内医療機関や当所におけるSARS-CoV-2検査により陽性となった症例のうち、548例についてins214EPE変異検査を行ったところ、377症例にins214EPEなし（オミクロン株BA.2疑い）がみられた。

COVID-19 ゲノム解析：SARS-CoV-2陽性例のうち、874症例について次世代シーケンサーを用いたゲノム解析を行ったところ、4～5月の34症例がオミクロン株BA.1系統、4～8月の361症例がBA.2系統、6～3月の404症例がBA.5系統と判定され、7症例がBQ.1.1系統、13症例がBF.7系統であった。その他、2症例がBA.2.12.1系統、6症例がBN.1系統、7症例がBA.4系統、1症例がBA.4.6系統、1症例がXBE系統と判定された。

脳炎・脳症：計9症例（髄液6、血清10、糞便5、鼻咽頭拭い液6、気管吸引液2、尿5）の検査を行ったところ、1症例の血清からヒトヘルペスウイルス6型が、糞便からアデノウイルス41型が同時に検出された。また、1症例の鼻咽頭拭い液からAH3インフルエンザウイルスが検出された。

無菌性髄膜炎：4症例（髄液4、血清2、鼻咽頭拭い液1、糞便2、尿1）の検査を行ったところ、1症例の髄液から水痘・帯状疱疹ウイルスが検出された。

感染性胃腸炎：集団発生事例では、食中毒および有症苦情事例を含む15事例（96名、糞便95、吐物2）について検査を行ったところ、5月、1月および2月の6事例43名からノロウイルスGIIが検出された。月別では、4月に2事例、5月に2事例、6月に3事例、8月に1事例、11月に1事例、1月に3事例、2月に3事例、それぞれ発生した。

散発例では、小児科医療機関に受診された計89症例（糞便91、血清1）について検査を行い、ノ

表 1. 2022 年度 疾患別, 月別ウイルスおよびリケッチア検出状況

臨床診断名	検出病原体	2022年					2023年										合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
インフルエンザ・	(被検者数)									1	14	14	27	56			
インフルエンザ様疾患	AH3型インフルエンザ									1	13	10	17	41			
	ヒトボカ											1		1			
	ヒトコロナOC43												6	6			
新型コロナウイルス	(被検者数) ^a	1,049	1,137	234	1,116	1,504	207							5,247			
感染症 (COVID-19)	新型コロナ ^a	246	305	114	588	874	147							2,274			
COVID-19	(被検者数)	258	290											548			
ins214EPE変異検査	ins214EPE変異あり	111	26											137			
	ins214EPE変異なし	128	249											377			
	判定不能	19	15											34			
COVID-19	(被検者数)	91	83	114	190	114	27	30	84	63	47	17	14	874			
ゲノム解析	オミクロン BA.1	32	2											34			
	BA.2	59	80	110	109	3								361			
	BA.2.12.1		1		1									2			
	BN.1									1	3	2		6			
	BA.4				5	2								7			
	BA.4.6									1				1			
	BA.5				3	74	109	27	29	75	48	22	7	10	404		
	BQ.1.1									2	1	4		7			
	BF.7										1	4	5	3	13		
	XBE											1		1			
脳炎・脳症	(被検者数)				1	2	1	1		2	1		1	9			
	ヒトヘルペス6型+アデノ41型									1				1			
	AH3型インフルエンザ										1			1			
無菌性髄膜炎	(被検者数)			1	1							1	1	4			
	水痘・带状疱疹												1	1			
感染性胃腸炎 (集団)	(被検者数)	7	23	13		1			4		36	12		96			
	ノロGII ^b		10								16	8		34			
感染性胃腸炎 (散発)	(被検者数)	3	3	3	3	12	10	8	11	8	9	10	9	89			
	ノロGII	1	1								2	5	1	10			
	ノロGII+アデノ2型											2		2			
	ノロGII+アデノ型不明										1			1			
	サボ	1				1	1							3			
	アストロ				1					1				2			
	アデノ31型				1									1			
	アデノ41型				1	1	1	1	6	2			1	13			
	アデノ型不明					1								1			
	CA6					1	1							2			
	パレコ1型							3	2		1	1		7			
	CA6+パレコ1型								1					1			
	EVD68+パレコ1型								1					1			
	パレコ3型								1					1			
	A群ロタ									1	1			2			
麻疹	(被検者数)			1				1						2			
	－													0			
風疹	(被検者数)							1						1			
	－													0			
手足口病	(被検者数)	2		2										4			
	CA6		2		2									4			
急性肝炎	(被検者数)				1		1							2			
	新型コロナ						1							1			
つつが虫病	(被検者数)	1			1			1	2	2				7			
(SFTS ^c 、日本紅斑熱 ^c を含む) つつが虫病リケッチア		1						1	1					3			
	SFTS								1					1			
オウム病	(被検者数)								1					1			
	－													0			
その他 ^d	(被検者数)	1	1	2	1			1		1				7			
	HHV-6	1												1			
症例合計	(被検者数)	1,410	1,539	368	1,316	1,633	246	43	102	77	107	54	52	6,947			
	病原体検出者数	599	691	227	782	992	181	36	86	59	68	41	38	3,800			

■, 灰色の影で記した数は, 無症状の施設関係者及び接触者を含む。

a, のべ被検者数 (以前検査した症例の再検査は, 複数症例として計上した)。

b, ノロ GII: ノロウイルス Genogroup II。

c, SFTS: 重症熱性血小板減少症候群

d, その他: 4 月の 1 症例は発疹症, 5 月の 1 症例は敗血症, 6 月の 2 症例はそれぞれ発疹症, ライム病, 7 月の 1 症例は帯状疱疹, 10 月の 1 症例は心筋炎, 12 月の 1 症例は胎児水腫。

月別被検者数は, 検体採取日をもとに集計した。

ロウイルス GII が13 症例から、アデノウイルス 41 型が13 症例からそれぞれ検出された。その他、アデノウイルス 2 型、アデノウイルス 31 型、サポウイルス、アストロウイルス、パレコウイルス 1 型、パレコウイルス 3 型、コクサッキーウイルス A6 型、エンテロウイルス D68 型が検出された。

麻疹：麻疹疑い例として検査依頼を受けた2 症例（咽頭拭い液 2，血漿 2，末梢血単核球 2，尿 1）の検査を行ったが、麻疹ウイルスおよび風疹ウイルスは検出されなかった。

風疹：風疹を疑われた1 症例（咽頭拭い液 1，血清 1，尿 1）の検査を行ったが、風疹ウイルスは検出されなかった。

手足口病：4 症例（咽頭拭い液 4）の検査を行ったところ、すべての症例からコクサッキーウイルス A6 型が検出された。

急性肝炎：2 症例（全血 2，血清 2，鼻咽頭拭い液 2，糞便 1，尿 1）の検査を行ったところ、1 症例の鼻咽頭拭い液から SARS-CoV-2 が検出された。アデノウイルスは検出されなかった。

つつが虫病 [マダニ咬症，重症熱性血小板減少症候群（SFTS），日本紅斑熱疑いを含む]：計 7 症

例 [血液（全血，または血漿，血清）8，痂皮または皮膚 5] の検査を行ったところ，3 症例からつつが虫病リケッチアが検出された。また，1 症例から SFTS ウイルスが検出された。ヒトからの SFTS ウイルスの検出は県内初であった。

オウム病：1 症例（鼻咽頭拭い液 1，喀痰 1）の検査を行ったところ，オウム病クラミジアは検出されなかったが，国立感染症研究所において，血清からオウム病クラミジアに対する IgM 抗体および IgG 抗体が確認された。

その他：4 月に発疹症 1 症例（1 歳児）の検査を行ったところ，血清からヒトヘルペスウイルス 6 型が検出された。

謝 辞

ウイルス検査は結果が判明するまでに時間がかかりますが，感染症の発生動向を知るうえで貴重な資料となります。ご多忙の中でご理解，ご協力をいただいた多くの医療機関および防疫機関の関係各位に深くお礼申し上げます。